

歯周病とは

わんちゃん、猫ちゃんでは虫歯は非常に稀ですが歯周病が圧倒的に多く、3歳以上のわんちゃんの80%ほどが歯周病を抱えているとされます。若いうちは歯周病があっても生活できていることがほとんどですが、高齢になり他の疾患を持ってから増悪因子になったり、食欲低下や肺炎の原因となることもあります。
歯石が付くだけではなく、歯周病菌が顎の骨を溶かしてしまいます。これには強い痛みが伴います。

《症状》

- 口臭
- よだれ
- くしゃみ
- 鼻水(時に膿性鼻汁)
- 鼻出血
- 固いものが食べられなくなる
- 口周りを掻く
- 食べこぼしが多い
- 口を閉じるときに顎がガクガクなる
- 目の下の皮膚が破れる
- 顎の骨折
- 誤嚥による細菌性肺炎
- 心筋炎
- 腎疾患

歯周病や歯科処置、歯磨き練習などの詳細はこちら→



《治療》

歯石を超音波スケーラーで除去します。その後歯科用のレントゲンを撮影し、顎骨の融解の程度を調べます。骨融解が進行している所の歯は抜歯をする必要があります。これらの処置には全身麻酔が必要なため、事前の検査をしっかり行います。無麻酔での歯石除去は、余計に歯を傷つけたり、顎骨折のリスクが高いため、決して推奨されません。

《お家でできること》

歯周病の治療をした後、または歯周病を予防するためには毎日のケアが大切です。最も効果的なのは歯ブラシを使った歯磨きですが、それには時間をかけてトレーニングをする必要があります。歯磨きができるまでは、その子に合ったケア製品を探してみましょう！

◆ 歯磨きガム

噛むことで歯垢を落とし、歯石の沈着を予防します。市販のガムの中には効果があまりないものもあります。

◆ アクアデント

飲み水に混ぜるだけの簡単なケアです。歯磨きやガムより効果が低めですが、口を触ることが難しい子や、ガムがあまり好きではない子におススメです。

◆ 歯磨きペースト、デンタルジェル

フレーバー付きのものがほとんどです。歯ブラシに付ける他、最初はそのまま舐めさせてもOKです。

